

フクシマは現在メルトアウト進行中

多喜 百合子

2011年3月11日

パンドラの箱は開いたのだ。

福島事故から2年と5ヶ月

「残念なことに

一日 1000t ずつの地下水が
原子炉建屋に流れ込み
放射能汚染水となっておりました。
半分は汲み上げて陸のタンクに保管
残りの半分が海にでておりました。」

と

他人事のように 東電は
淡々と 読み上げた。

つまり 順を追って言うと

溶けた核燃料が原子炉の底にたまっている—メルトダウン。

それが原子炉を突き破り

格納容器の外にまで漏れ出ている。

格納容器に穴があいた—メルトスルー。

少なくとも2つ穴が開いている。

地下水の入り口と

汚染水となって外に流れていく出口の穴と。

さらに核燃料が地下水に混じって

海に出ているのだから

これって 本当は

最悪の「メルトアウト」でしょ？

東電はキーワードを巧みにはずして説明する。

人類が経験したことのない

映画の中でしか見たことのない

最悪の非常事態
なぜ認めない？

政府は40年ぐらいで廃炉にできると言った。
それも高線量の炉内で
人間のかわりに動くロボットが
10年以内で
開発されて 問題の箇所をつきとめられれば
という条件がついた。

問題の「箇所」だって？
溶けた核燃料が漏れ出ている
問題の「穴」と
なぜはっきり言わない。

もうたくさんだ。
日本はメンツを捨てて
世界中の 技術者 科学者 に SOS を出せ！

今日も 毎日3000人以上の臨時作業員が
高線量の原子炉建屋の中に
全力疾走で飛び込み
また全力で走って戻ってくる。
作業の時間も入れて5分が限度。
被曝量の合計が100msvになると
その時点でクビになり新しい人と交代になる。

さらに
原子炉の建屋の屋根がないままなので
放射能が空気中にじかに放出される。
こんなことはいつものことだからと
もうニュースにも ならない。

2年を過ぎた頃から
人手不足になり
被曝の影響の出やすい20代の若者まで

動員されて
被曝させられている。
とりあえず
再爆発させないためだけの
その場しのぎの応急処置のためだけに。

日本政府のいう「原発再稼働のための新しい安全基準」。
再稼働？
聞いてあきれろ！

注：

- 1) 海に流れ出ている汚染水表面の放射線量は毎時 830 ミリシーベルト。これは 10 時間
いただけでほとんどの人間が死に至る線量。
- 2) 陸上に保管中 1000 基のタンクのうちのひとつからも 8 月 20 日の時点で合計 300 トンの
高濃度核汚染水が漏れ出ていることがわかった。
これだけでも IAEA のレベル 3 (3. 1 1 はレベル 7) の重大事故に相当する。
その後も 更に別のタンクから汚染水漏れが 次々に見つかっている。

※東京新聞は 2013 年 8 月 22 日付の社説で
「福島は大事故の上に大事故を日常的に重ねている状態」と
報じた。